

リモート統合監視制御システム「VMO」 トヨタ自動車北海道が導入

放送局以外では初、年内稼働

㈱テレビ北海道（TVh、札幌市）は、様々な設備をリモートで監視制御できるシステム「VMO（バーチャルマスターオペレーター）」をトヨタ自動車北海道㈱（苫小牧市）から受注し、2025 年 12 月に納入します。放送局以外では初の導入事例となります。

トヨタ自動車北海道は同社工場に VMO を導入し、工場への水やガスの供給を効率的に監視、操作できる体制を構築します。

従来、同社では、複数の大型モニターとパソコンを監視室に配備し、監視業務を行ってきました。VMO 導入で、1 台の横長モニターとタッチパネルで監視を行えるようにし、人員の効率的な配置や監視スペースの縮小につなげます。また、VMO は遠隔でも同じように操作できるため、在宅での監視が可能になり、災害時の事業継続にも役立ちます。

VMO はテレビ局の基幹インフラのマスター（主調整室）業務を効率化するため、テレビ北海道が独自に開発したシステムです。2024 年から外部への販売を始め、これまで FM 北海道などが導入しています。

テレビ北海道では今後も、放送局向けだけでなく、ビルや工場の管理など幅広い用途に対応できる機能の開発を進め、様々な業種の現場の効率化に貢献してまいります。

なお、テレビ北海道は 2025 年 7 月 23 日に札幌で開催される「北洋銀行 ものづくりサステナフェア 2025」に出展、VMO のデモ機展示と機能説明を行います。

VMO（バーチャルマスターオペレーター）デモ機



【問い合わせ先】

テレビ北海道：

札幌市中央区大通東6丁目12番地4

VMO推進室 高橋寿也 Tel：011-232-7157

技術・DX推進局 高橋康二 Tel：011-232-1122

【備考】**▼VMO（バーチャルマスターオペレーター）**

放送局のマスター（主調整室）業務をはじめ、ビル・工場・インフラ設備などの監視業務をリモート運用できるシステムです。パソコン画面に各種監視ルームを忠実に再現し、実際の監視室にいるのと同様にリモートで監視・制御ができます。既存設備を改修せずに低コストかつ迅速に導入でき、監視制御サーバーを設置することで複数拠点を同時に統合監視できます。

[\(https://www.tv-hokkaido.co.jp/special/virtual-master/\)](https://www.tv-hokkaido.co.jp/special/virtual-master/)

▼VMO受賞歴

- ・放送文化基金賞 技術部門 受賞（2025）
- ・北海道総通局長表彰 受彰（2025）
- ・INTER BEE AWARD コンテンツ制作／放送・メディア（ハードウェア&ソフトウェア）部門「準グランプリ」受賞（2024）
- ・映像情報メディア学会 進歩開発賞（現場運用部門）受賞（2023）
- ・民放連賞 技術部門「最優秀」受賞（2023）